

《142回那覇市小学生バレーボール大会運営規定》

【競技上の確認事項】

＜大会日程＞

①8月10日(土)

8:00 各チーム集合

※各会場違法駐車はしないようお願い致します。

8:10 チーム受付(チーム確認)

※スタッフ・選手変更届は各会場競技委員へ提出願います。

8:15 監督ミーティング

8:30 開会式

※会場によっては分散開会式となる事が御座います。

※移動チームについては各会場全チーム到着後、10分後には5分間練習を開始下さい

(第一試合)5分間練習終了後、3分間打ち合いを行い試合開始下さい。以降は追い込み方式

※集合時間には遅れないようお願い致します。

②8月11日(日)

8:00 体育館会場・チーム集合 選手 /保護者は待機場所へ(父母・選手ともに靴は袋に入れ持参)

※会場:宇栄原小学校

8:10 チーム受付

8:20 監督ミーティング

8:35 5分間公式練習開始

8:45 第1試合開始

※以降は追い込み方式で試合進行下さい

(決勝戦終了後) 閉会式開始

＜競技規則＞

令和6年度(公財)日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。

但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。また、本大会特別規則を採用する

＜競技方法＞

① B:女子・男子・混合ブロックを開催する

② 男子・女子・混合:予選リーグ、決勝トーナメントを行う事とする

③ 試合はすべて3セットマッチとする。

各ブロック3セットマッチ21点のラリーポイント制を採用し、2セット先取とする。

3セット目は15点制とし、デュースの際は、全セット2点差がつくまで行う事とする

④ 本大会においてもテクニカルタイムアウトを適用する。

第1、2セットでは、リードするチームが7点・14点目に達したとき、

第3セットはリードするチームが8点目に達したときに適用する。

デュースが続く場合、第1、2セットは両チームが、25点に達したときに適用し、

その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。

第3セットは両チームが21点に達したとき、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。

※テクニカルタイムアウトは水分補給のみならず、健康管理も行うようお願い致します。

⑤ 試合は追い込み方式で行い、連続試合の場合は、最大15分の休憩をとる

※15分のインターバル取り扱いは、各チーム監督責任の下、休憩又は練習の判断をする。

⑥ 試合が終了したチームは速やかにコートを空ける事

| | | | |
|---|--|--|--|
| 次の試合のチームは迅速に当該コートに集合し、以下の事を行う | | | |
| ・ラインナップシート、得点掲示用チームプレートを審判員に提出 | | | |
| ・予選～決勝戦まで全て3分間打ち合い(簡易IF) | | | |
| ※連続試合ではない場合は、前の試合終了5分後に3分間打ち合いを開始する。 | | | |
| <参加規程> | | | |
| -チーム編成- | | | |
| ① チーム編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする 但し、監督は必ず成人である事とする | | | |
| -エントリー変更- | | | |
| 参加申込書に記載された選手の変更(背番号の変更・誤字の訂正)に関しては初日の8時30分までに、 チームスタッフは1～2日目それぞれ監督ミーティングまでに、エントリー変更届けにその旨記入し、 各会場の競技委員長に提出し、承認を得ること。それ以降の変更は認められない。 | | | |
| -服装- | | | |
| ① 単独チームの選手のユニフォームは同一の物を着用し、背番号は1～99番とするが競技運営上1～12番が望ましい 男女混合チームは背番号が同じにならないように、かつ、分かりやすいように各チームのユニフォームを着用して下さい 但し、違うユニフォームを用意できない場合は、同一ユニフォームで構わないが、男子・女子いずれかが、 識別用バンドを腕か足首に付けるか、ソックスの色やハチマキなどでひと目で判別できるようにすること。 ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対象的な色を使用し、誰もが見え易いものにする事 ※ビブスの着用も可とする ※ハチマキの着用は、チームで揃えなくてもよい(ヘアバンドと同じ扱いとなります) | | | |
| ② 単独チームの監督・コーチ・マネージャーの服装は、統一された物を着用する事とし、シューズを履くこと 但し、マネージャーが児童の場合はこれの限りではない ※スタッフの服装の統一とは、襟付きのシャツ、長ズボン・半ズボン(混在可)同系色に揃えることをさす。 ※ベンチスタッフのシャツのイン・アウトはどちらでも良い。(但し、だらし無いのはNG) 選手についてはインすること(安全面・盗撮防止の為) | | | |
| ③ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること | | | |
| -大会使用球- | | | |
| ① 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボールを使用する 「ミカサボール(MVA500)・モルテンボール(V4M5000-L)」(円周62～64cm重量200～220g) ※ ボールの内圧については、6人制競技規則に準じ、294. 3～318. 82hPa内、315. 0hPaとする。 | | | |
| ② 本大会は男子・混合ブロック:ミカサ/ 女子ブロック:モルテン | | | |
| -順位の決定方法- | | | |
| ① 勝率(勝数の多いチーム) | | | |
| ② セット率(全試合の取得したセット総数/全試合の喪失したセット総数) | | | |
| ③ ポイント率(全試合の総得点/全試合の総失点) | | | |
| ④ ②-③が同率の場合は、15点1セットの直接対決を行う。 ※四角、五角リーグにおいては、①-③にかかわらず直接対決の勝敗を優先する | | | |
| -各試合会場におけるコートでの練習について | | | |
| ① 各会場ともコートの準備ができ、競技委員からのアナウンスがあるまでフロアに入ることはできない | | | |
| ② 第1試合目となるすべてのチームに、試合前5分間の公式練習時間を与える 但し、各会場競技委員長の指示に従う事 | | | |
| ③ 前規定の時間以後は、次のチームのみコート内での練習ができる | | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| | 但し、隣のコートで試合中の場合はサーブ・スパイク・ノック等は禁止とし、パスまでの練習とする | | |
| ④ | 予選～決勝戦まで3分間の打ち合いとする。 | | |
| ⑤ | フロア以外でのボールを使った練習は、建物内外にかかわらず絶対禁止とする また、屋外でのアップの際は外履き用の靴に履き替えること | | |
| | -審判員- | | |
| ① | 大会1日目の主審・副審はチームスタッフから出す事とする | | |
| ② | 大会2日目は日本バレーボール協会公認審判員の公認審判員が審判委員長の指示のもと配置される | | |
| ③ | ラインズマン・点示係・記録係は各チームから出すこと | | |
| | -その他- | | |
| ① | 試合前の挨拶については、ネットをはさんで対戦相手と握手をする。 ※感染症状況により変更あり ※監督は、試合終了後に審判と握手をしてください。 | | |
| ② | ベンチには、競技上必要な飲料水・救急用具以外の物品を持ち込まない。また、飲料水は床にこぼさないよう注意する 水筒は、ワンタッチ式の蓋つき水筒でもよい(ペットボトルは引き続 き G)但し、会場によって不可の場合あり。 ※クーラーボックス・キャンプカートは使用禁止。 ※スマートウォッチは、時計として使用は可(通信機器やカメラとしての使用は禁止) | | |
| ③ | 応援団の応援旗及び横断幕は試合のあるチームのみが掲示し、その際にプレーに支障のないように配慮する 試合終了時には迅速に撤去し、次のチームに場所を譲る事 応援団の応援用具は大きな音の出る鳴り物(太鼓・ベル・ペットボトル等)は禁止とする | | |
| ④ | ※審判のホイッスルの邪魔にならないように配慮する事 | | |
| ⑤ | 審判やラインジャッジへの批判・暴言・威嚇等の行為は厳に慎む事 | | |
| ⑥ | 選手への体罰・暴言・威嚇等の行為は、絶対禁止とする ※上記事項を各チームの指導者は十分考慮すると同時に、各チームの応援団(父母会)への指導を徹底する事 | | |
| ⑦ | 各チームは、ネームプレートを持参する事 但し、2日目に出場するチームは得点掲示用のネームプレートを2枚用意する事 | | |
| ⑧ | 各チームは、ボール拭き用のタオルを持参する事 | | |